イントロダクション

## 会長メッセージ

## 企業価値の向上と持続的成長の実現に向け 執行側に働きかける取締役会へ

近年、取締役会に求められる役割は世界的に変化・拡大し、従来の「企業の安定的な利益追求やその活動の遵法性維持などの観点から執行側を監督する」役割を超えて、「執行側との積極的な議論を通じて広く総合的な企業価値の向上と持続性の強化を働きかけていく」ことが要請されるようになりました。そのために取締役会は、①その構成メンバーの経験の多様性と見識の高さを増すとともに、②執行側との対話を積み重ね、③企業の活動が社会および各ステークホルダーの要請と整合していることを確認し、その説明性を高めていくことが求められています。

このような変化を真摯に受け止め、三菱重エグ ループは事業構造と企業統治の改革を一体的に進 め、取締役会の体制を含む組織や事業体制の変革 を推進してきました。取締役会の体制としては、今 回社外取締役として森川氏を迎え、構成メンバーの 経験の多様性を強化し、経営意思決定の健全性と 透明性のさらなる向上を図りました。また、2010事 業計画以降の4期にわたる事業構造改革では、戦略 的事業評価制度にもとづくポートフォリオ経営への 移行を進め、事業の選択と集中を強力に推進しまし た。また、キャッシュ・フローを重視した経営への 移行とそれに伴う財務基盤の強化によって成長を追 求するための体力を整えました。これらの改革に加 え、顕在化した危機への対応とリスクマネジメント 強化を完了することで、組織内外の要因による長期 間の低迷から脱却できました。

しかし、グローバル規模での脱炭素社会への移行 やデジタルトランスフォーメーション、さらには感染 症流行等、社会の要請や経営環境はさらに大きく変 わりつつあります。とりわけ、デジタル化の進展によ り既存事業のあり方や価値に大きな変化が生ずるこ とは確実であり、当社グループが長年育んできた品 質管理などにおける優位性と、進化する人工知能な どを調和させた形でものづくり過程に織り込み、既 存事業を改良・強化していくだけでなく、グループ 外の企業との協力による事業強化や組織・体質の 転換など、より柔軟な発想と取り組みが求められて います。

取締役会は、これらの課題に向き合い、今後も執行側との積極的な議論を通じて、広く企業価値の向上と持続性の強化を働きかけることで、当社グループが成長軌道に向けて歩みを進められるよう役割を果たしていく所存です。

取締役会長 宮永 俊一